

【Insectopia(インセクトピア)】とは：insect(虫)とutopia(理想郷)を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



大学生と共に考える『都市衛生』の未来

2024年6月、シェルグループ代表の岡部が神奈川大学・横浜キャンパスで『人と自然が共存できる都市衛生には何が必要か』をテーマにした講義を行い、学生とディスカッションをしました。本号ではその内容についてお伝えします。

講義について

今回の講義は法学部の3,4年生を対象としたものでした。大学側の目的は就職を前に学生たちの仕事に対する希薄なイメージを具体的なものとする事で、仕事での充実感・達成感などの現場の情熱を感じる機会にできればとのこととお話をいただきました。今回は、シェルグループの企業理念から現場での仕事などの表層的なことに留まらず、その中で感じる葛藤も含めて仕事の意義や仕事に対する姿勢をお伝えしました。

講義内容

日本では1970年に建築物衛生法が定められ、都市衛生はある意味での発展を遂げ人々の暮らしは豊かになりましたが、一方で多くの環境問題が引き起こされました。このことを事例を含めて紹介。そして、シェルグループの事業の根幹であるペストコントロール業の害虫獣防除も人々の生活環境を保全する安心安全に必要な不可欠なサービスでありながら、施工現場で使用される大量の化学物質(薬剤)が環境汚染の原因ともなっている事実に向き合うなかで感じた葛藤とそれを乗り越え新たな意義を見出すまでの過去から現在までのプロセスをお話しました。

その後、新たな意義を新たな会社の使命(Mission)に昇華し、啓蒙・教育・予防に注力することでよりよい未来を創る事業への再構築を図っている現在から未来に向けた現在進行形のことを生々しくお伝えしました。

よりよい未来をつくることの厳しさ、そしてその厳しさゆえの楽しさが少しでも伝わればよかったと思っています。

講義後の学生の感想(一部抜粋)

「『都市衛生』は人々の暮らしを保全するためのものだと思うていたが、人を含めた全ての生き物の環境を保全するものだと学んだ」

「害虫も自然環境や地球という観点では生態系として重要な役割を担っているため、『駆除』という発想ではなく、棲み分けをした上での共存を模索していくべきだと感じた」

情緒的な想いの部分だけでなく、事業の根幹に関わる点に触れた感想も多くいただき、弊社にとってもとてもやりがいのある“仕事”となりました。

私たちは『啓蒙・教育・予防』の活動を通じて、環境へ配慮した持続可能な社会の創造を目指しています。今回の講義はまさしく『啓蒙・教育』活動です。このような機会、未来を担う若者たちが都市衛生を創るきっかけをこれからも積極的に展開していきたいと思えます。



写真：8thCAL(株)による講義の様子(神奈川大学 横浜キャンパス)



宿泊施設利用者を対象とした トコジラミ対策に関する意識調査を実施！

今後も加速が見込まれるインバウンド観光客の増加により、日本国内の宿泊施設におけるトコジラミ被害は更なる拡大が予想されます。宿泊施設におけるトコジラミ対策の重要性を明らかにするため、シェルグループは下記7つの視点で「インバウンド観光客増加とトコジラミ対策に関する宿泊施設利用者の意識調査」を実施しました。

【調査内容】

1. ここ1年以内に日本国内のホテルや旅館などの宿泊施設に宿泊したことがある人はどれくらいいるか？
2. 直近の海外からのインバウンド観光客が増加する国内のホテル等の宿泊施設に対してあなたはどのような印象を持っているか？
3. 海外からのインバウンド観光客が増加する日本国内のホテル等の宿泊施設で宿泊する際に気になることは何かあるか？
4. 宿泊予定の国内ホテルや旅館などがトコジラミ対策を行っているかどうかを選択基準になるか？
5. 宿泊施設がトコジラミ対策を実施していることをアピールする施策（予約サイト等での説明や部屋内へのトコジラミ対策実施済みシール等の掲示）について、どのような印象を持つか？
6. インバウンド観光客の増加に伴い、国内の宿泊施設を利用する際により一層重視するようになった項目は何か？
7. トコジラミ対策を行っているかどうかについて気になるのはどのような施設か？

※調査結果はPR TIMESにて掲載しています。
ぜひご覧ください。→<https://ur0.jp/ysca7>



今回の調査結果を通じて、宿泊施設運営者は宿泊者の安全と健康を守るため、適切なトコジラミ対策を講じることが不可欠だということがよりクリアにわかりました。そして、その取り組みを積極的にアピールすることは、我々が想像している以上に宿泊者に安心感を与えることになることを改めて実感しました。今や、宿泊施設に留まらず、公共交通機関や医療機関でも関心が高まっています。利用者が安全で快適な生活をおくる上で、トコジラミ対策は社会全体で取り組むべき課題となったと言えます。

シェルグループが提供するトコジラミ対策サービス

シェルグループは、創業から60年「環境・都市衛生」の専門家として培ってきた知識と技術を活かしたトコジラミ対策「トコジラぬ」サービスの提供をスタートしました。被害の早期発見を目的とした商材の提供や、専門の現場作業員による作業など、予防から駆除までのトータルサポートを実現させ、お客様へ安全で快適な生活環境を提供することに尽力していきます。

※シェルグループの新サービス「トコジラぬ」
→<https://ur0.jp/vd5EN>



今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
真面公園昆虫館館長



クチナガハリバエ

(口長針蠅)

八工目ヤドリバエ科
学名: Prosenella siberita

体長10mm前後の比較的大型の八工。長く伸びる特徴的な口吻を持つ。この口吻は刺すためではなく、花蜜などを吸汁するのに用いる。幼虫はマメコガネ、ヒメコガネ、スジコガネなどの食葉性コガネムシの幼虫に寄生することが知られている。なお本種は北米で害虫化したマメコガネの天敵として導入されたことがある。

Information

●最新リリース情報

シェルグループの新サービス「トコジラぬ」をリリースしました！
→<https://ur0.jp/vd5EN>



●Pick up 展示会・セミナー情報

害蟲展 season5 (※8thCAL主催)

【東京】MATERIO base
会期: 2024年8月31日(土)~9月12日(木)

【大阪】真面公園昆虫館
会期: 2024年9月18日(水)~9月23日(月)

【福岡】九州大学総合研究博物館
会期: 2024年9月28日(土)~10月8日(木)



Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を
配信中です。

